



ココアスナップショット (2024-2025年度 中間報告)



カカオ生産コミュニティに前向きな変化をもたらす

ココアホライズンについて

世界のカカオの大部分は、赤道近くの遠隔地に住む小規模生産者によって生産されています。小規模のカカオ生産者は、農業への投資資金の不足、老朽化したカカオの樹木、土壤の劣化、気候変動の影響に加え、清潔な水、電気、舗装道路、質の高い教育などの重要インフラの不足といった経済的・社会的・環境的な課題に直面しています。

こうした課題に取り組み、カカオ生産者のコミュニティを支援するため、バリーカレボー社は2015年に「ココアホライズン財団」を設立しました。当財団は、持続可能かつ起業的な農業手法の推進を通じてカカオ生産者の生活を向上させるとともに、自然および子どもを守る仕組みをカカオ生産者のコミュニティにおいて強化することを使命としています。

本プログラムは、バリーカレボー社の関連企業によって7か国で実施されています。コートジボワールでは、トウトン社およびシュクデン社と連携し、取り組みの範囲を拡大しています。

ココアホライズンの中核をなすのは透明性とインパクトです。そのため、監査済みの年次報告書を通じて、どのように資金が使われ、具体的にどのような成果がカカオ栽培のコミュニティにもたらしたかを報告しています。

エグゼクティブサマリー

今年前半のカカオセクターでは、今後の供給を確保し、カカオ農園およびカカオ栽培のコミュニティのレジリエンスを強化する必要性が浮き彫りとなりました。収量の低下や厳しい購入環境により、カカオの出荷量および購入量が減少し、数量関連の主要業績指標（KPI）は大打撃をうけました。そんな状況にも関わらず、ココアホライズンは生産者と緊密に連携し、次の主な分野で着実な進展を遂げました。

- トレーサビリティおよびEUDR：**生産者データの97%を収集できたことで、完全なトレーサビリティの確立および今後施行されるEUDR（欧州森林破壊防止規則）への準拠に向けた重要な節目を達成しました。
- アグロフォレストリー（森林農法）：**ココアホライズンが保有する苗木センターで数百万本の良質なシェードツリーの苗木が各地で生産され年内にカカオ生産者および協同組合へ配布することが予定されています。
- カカオ新梢腫脹ウイルス（CSSVD）：**ウイルスの防除および予防に最適な手法を検証するため、100ヘクタールの試験地を設けました。
- 人権分野：**ココアホライズンは3つの国際的な児童権利団体と提携し、児童労働の根本原因に取り組むための包括的なコミュニティ・システム・アプローチを推進しました。さらに、正式な児童保護機関と連携し、統合的な児童保護ケース管理の仕組みを導入しました。

私たちは、強い信念のもとカカオ栽培のコミュニティにおける影響力の拡大と変革を推進していきます。



すべてのレポートは以下のリンクからご覧いただけます。

<https://www.cocoahorizons.org/reports>

ココアホライズンとの連携を通じて、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）を支援します。
<https://www.un.org/sustainabledevelopment>

【SDGs表記に関する免責事項】

本書の内容は国際連合による承認を受けたものではなく、同機関またはその職員、加盟国の見解を反映するものではありません。

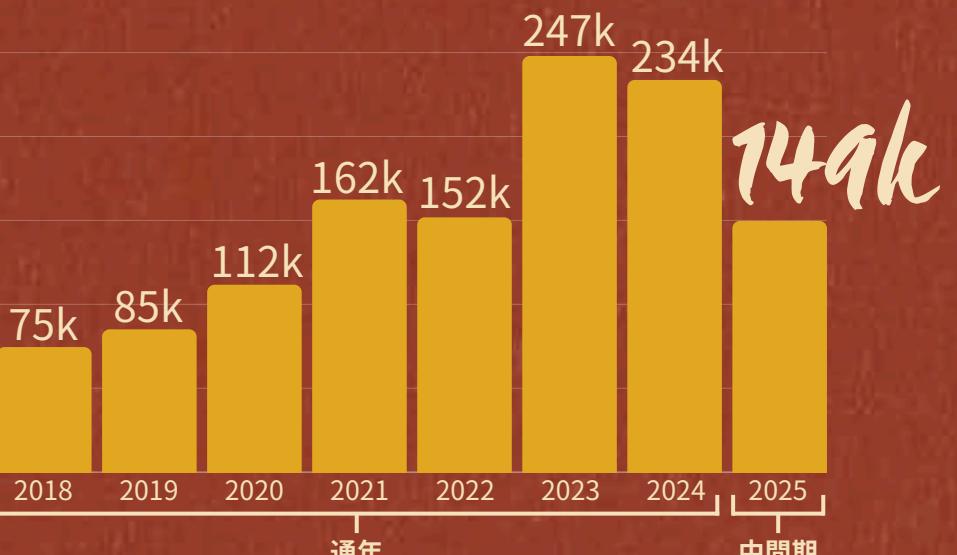


世界における主な成果

収量の減少と厳しい購入環境により、出荷および取引に支障が生じました。

254

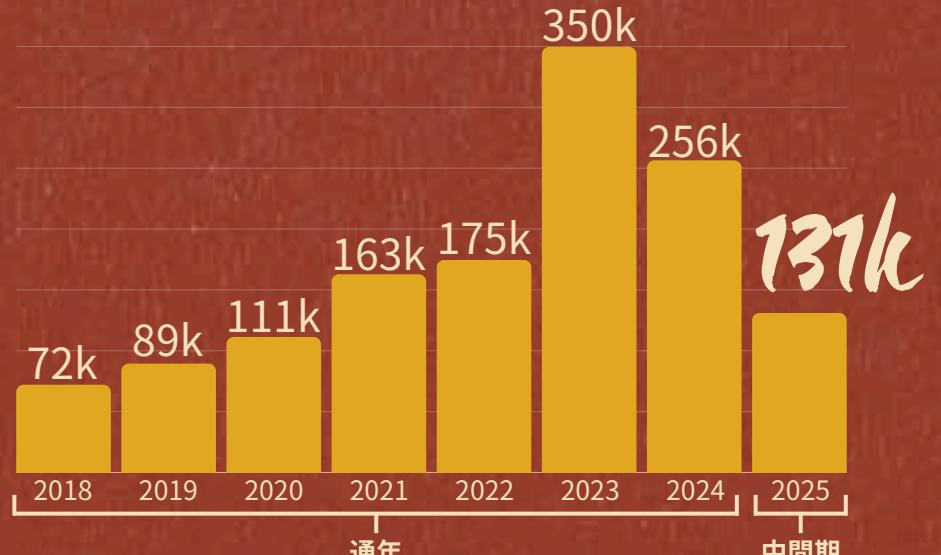
生産者グループ
(前年中間期比 -25%)



カカオを出荷している生産者

-27%

カカオ購入量
(トン単位、前年中間期比)



カカオ購入量 (トン単位)

トレーサビリティの強化

97%

完全にマッピングされた農園から
出荷している生産者の割合

生産者の支援

68,387

農園事業計画書を受け取ったカカオ
生産者の割合

自立したコミュニティ

98%

当社の直接的なサプライチェーン内で、児童
労働のモニタリングおよび是正措置の対象と
なっている生産者グループの割合

融資へのアクセス

CHF 409k

村落貯蓄貸付組合
(VSLA) を通じて
貯蓄された総額

支援対象の生産者たち

ココアホライズンはカカオ生産者と直接関わり、一次情報を収集することで、それぞれの農園に合わせた活動を行い、カカオ生産者のコミュニティが直面する複雑な課題に対して効果的に対応しています。このような積極的なアプローチは、今後のEU規制要件に対応する強固な仕組みの基盤となっています。

主なデータおよび実態

254 -25%
前年比

カカオを出荷している生産者グループ

149,695 -24%
前年比

カカオを出荷している生産者数

131,024 -27%
前年比

購入されたカカオの総重量（トン単位）

97% +12%
前年比

完全にマッピングされた農園から出荷している生産者の割合

68,387

農園事業計画書を受け取ったカカオ生産者の割合

98%

当社の直接的なサプライチェーン内で、児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている生産者グループの割合

3,859

配布されたシェードツリーの苗木数
(大部分は年後半に配布予定)



生産者の繁栄

今年は、異常気象・病害・投資不足によるカカオ不足によって世界のカカオ価格が歴史的な高値を記録するなどの苦難から始まりました。ココアホライズンはこうした不確実性に立ち向かい、生産者の生活向上と持続可能なカカオ栽培の推進に取り組み続けています。

研修より実践

私たちは実践重視の戦略を継続しています。

農園事業計画書（FBP）：

収量を最適化するため生産者と一対一の訪問コーチングを通じてこれまで68,387件の具体的なアドバイスを提供しました。

生産性向上パッケージ：

肥料や農薬を適切に使用することで収量と収入を高める「生産性向上パッケージ」の効果が、生産者の間で広く認識されてきています。効果を最大化するため、雨季に合わせて配布時期を設定しています。今年は雨季の到来が遅れたため、配布も遅延し、前年に比べ60%減少しました。

カカオ苗木の配布：

2018年以来、ココアホライズンは初めてコートジボワールでカカオの再生を目的とした苗木の育成および配布に取り組んでいます。

これまでおよそ130万本の苗木が育成されており、年後半には苗木が配布される予定です。

カカオ新梢腫脹ウイルス（CSSVD）に関するパイロット事業：

近年、コートジボワールではカカオ新梢腫脹ウイルス病（CSSVD）の発生が増加しています。このウイルスは今後10年間で、国内のカカオ生産量の15~20%を脅かす可能性があると推定されています。そこでココアホライズンは、感染が深刻な地域を対象に、CSSVD対策として100ヘクタール規模のパイロット事業を立ち上げました。

収入創出活動（IGA）：

所得の多様化および収入向上を目的に支援を拡大し、5,803人のコミュニティメンバーに支援を届け、カカオ生産者のコミュニティの経済的レジリエンスを高めました。IGAは、特に農閑期における生産者の収入源の多様化にプラスの効果があることが実証されています。

今後の展望

年後半には、収穫期の支援の拡充、農園事業計画書の増加、生産性向上パッケージおよび高品質苗木の本格的な配布に集中して取り組みます。これらの取り組みは全て生産者データに基づいています。カカオ生産者のコミュニティ内で変化するニーズにより効果的に対応することができます。

“

今回の取り組みで私たちはカカオの苗木を130万本育てました。受け取ったカカオの種を洗うところから始まります。その後、発芽した種を植え付けます。苗が育ち始めるときが一番嬉しい瞬間です。小さな芽が出てくるのを見ると凄く感動すると同時に嬉しくなります。

”

サリマタ・ボッシムさん

苗木センター職員

（コートジボワール、ティアサレ在住）



生産者の繁栄



149,695

力カカオを出荷している生産者数

↑ -24%

前年比



68,387

農園事業計画書を受領した生産者数

-27%

前年比



1,300

生産性パッケージを受け取っている生産者数
(パッケージの大部分は年後半に配布予定)



29,391

インドネシアで配布され、年後半に他国に
配布予定の力カカオの苗木数



自立したコミュニティ

体制の強化

私たちは本格的に新たな人権戦略を始動しています。各世帯人数の調査による児童労働のモニタリングに重点を置いた「モニタリングと発見のアプローチ」から、「予防と対応」に重点を置いた児童保護アプローチへと移行しています。

農場巡回調査

今年前半は、アフリカの4つの調達国で「農場巡回調査（FOS）」という独自の手段の試験導入を継続的に実施しました。現場で児童労働やその他の潜在的な人権リスクを観察および特定する方法について、スタッフおよびコーチへの研修を実施しました。さらにカカオ生産者との対話を通じて人権侵害を確認、緩和、および是正することを目的とした農園巡回調査を後押しするコミュニケーションスキルにも重点を置きました。

統合型の児童保護ケースマネジメント

前年度（2023/2024）は、コートジボワール、ガーナ、カメルーンの専門機関と連携して現地当局（公式の児童保護サービス）と協力して「統合型の児童保護ケースマネジメント」を推進しました。

NGOのパートナーを通じて、現地の児童保護体制の能力構築と児童保護ケースマネジメントの手続きを支援しています。

コミュニティシステムの強化：

2024/25年度には、コートジボワール、ガーナ、ナイジェリアで「コミュニティ・システム・アプローチ」を開始し、計31,028人の成人（直接・間接的な支援問わず）および34,725人の児童（直接・間接的な支援問わず）に支援を提供しました。このアプローチは、子どもを保護する環境を構築する5つの相互的な要素（次ページを参照）を中心に設計されています。構造的な脆弱性に対するレジリエンスを高めることで、児童労働の根本原因や要因に持続的かつ現地に根ざした形で取り組んでいます。

今後の展望

最終的に児童労働の防止と軽減、また子どもたちが自立できるよう保護され、権利を自覚し、自分たちのコミュニティを形作ることに積極的に関われる環境づくりに向けてさらに多くの資源を動員する取り組みを継続的に改善していくことが私たちの目標です。

66

私たちのカカオ農園は、持続可能な農業を実践する取り組みの一環でココアホライズンのプログラムに参加しています。私は村の女性生産者たちが中心となって運営しているビジネスグループ「IGA Kuajang」に積極的に参加しています。彼女たちと協力して、コーヒーの加工とパッケージ販売を行っています。私たちが運営しているような小規模ビジネスは単に製品を販売するだけではなく、地域の伝統を守り、農村部の女性の役割を強化し、メンバーの収入を増やすことで、より自立した未来への希望を育む手段でもあると捉えています。

99

ハスミアさん
(IGA Kuajangのメンバー、カカオ生産者
クアジヤン、インドネシア在住)

*IGAとは「収入創出活動」のこと



コミュニティ・システム・アプローチの5つの構成要素

成果

児童保護システムの
効果的な機能

コミュニティの
インフラ改善

質の高い教育への
アクセスの改善

生計強化の手段への
アクセス改善

マルチステークホルダー
による連携の拡大と強化

活動内容



コミュニティレベルでの
児童保護委員会の設置
政府による児童の権利侵害
に対する効果的な防止、評
価、是正の義務付け



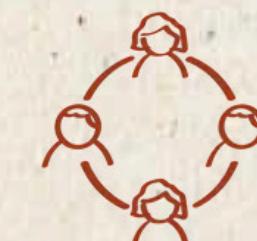
コミュニティの行動計画
およびインフラ整備支援
コミュニティの開発ニー
ズへの対応



学校レベルの活動
学習および児童の幸福
に対する支援



生計強化の手段
家庭の資産、金融知識
を高め、収入・貯蓄・
資源へのアクセス改善



マルチステークホルダ
ーによる連携
現地、国内、国際レベ
ルの関係者との積極的
な協力および関与

自立したコミュニティ



98%

当社の直接的なサプライチェーン内で、児童労働のモニタリングおよび是正措置の対象となっている生産者グループの割合



615

+5%
前年比

設立または運営中の村落貯蓄貸付組合（VSLA）の数



7,286

特定された児童労働の件数

+14%

前年比



67.2% -10%

前年比

VSLAのメンバー内の女性の割合



23,504

是正措置を講じている児童労働の件数



CHF 409,026

VSLAを通じて貯蓄された総額



是正措置を講じた児童労働の件数は年末に報告予定



CHF 252,679

VSLAを通じて貸し出された総額

自然を豊かに

一年の中盤を迎えており、ココアホライズンは追跡可能で森林破壊を伴わないカカオサプライチェーンの実現に向けて着実に進展しています。

私たちはトレーサビリティの分野で大きな節目を迎え、日陰の管理および環境保護に対する生産者の意識向上を目的としたアグロフォレストリー計画を引き続き推進していきます。

トレーサビリティ

私たちは、参加している生産者全体の97%の必要なデータを全て収集できており、以前から掲げているトレーサビリティの目標の達成に非常に近づいています。森林伐採の可能性があると判断された区画については、現地調査を実施します。完全かつ正確な情報を有する区画のみがココアホライズンの認証対象となります。ココアホライズンが認証したカカオは、2025年末までEUDR（欧州森林破壊防止規則）の要件を全て満たす予定です。

アグロフォレストリー（森林農法）

カカオ生産者間のアグロフォレストリー導入率の改善もまた、生産者の収入源の多様化を実現しています。ココアホライズンが植樹した樹木を管理し、健全に育っている木に対してはPES（生態系サービス支払い）を実施しています。

日陰の管理

カカオが気候変動に耐えるためには、最適な日陰のバランスを見つけることが不可欠です。日陰が少なすぎると高温ストレスや土壌劣化、病害が起きやすく、逆に多すぎると収量が減少してしまいます。ココアホライズンはカカオ生産者が農園にて最適な日陰のバランスを見つけることができるよう後押しし、果樹や森林樹木を生産者や協同組合に配布しています。

今後の展望

アグロフォレストリーの取り組みをさらに改善し、植樹後の苗木の成長をモニタリングするためのデジタルツールを構築しています。苗木を主に雨季に配布して生存率を最適化します。

さらに、私たちは森林伐採ゼロを目的とした厳格なデューデリジェンスプロセスを確立することで、パートナー企業がEUDR（欧州森林破壊防止規則）が定める基準に適合できるように後押しし、持続可能かつ法令に遵守した未来に向けた取り組みの影響力および効果を維持します。

“

アグロフォレストリー（森林農法）は、自然の力を利用して自然環境を保全できることが最大のメリットです。カカオ農園に大きな樹木がなく、気候変動の厳しい影響から守ることができなければ、カカオの木は枯れてしまいます。これまでもアグロフォレストリーを実践してきましたが、伝統的な方法でした。現在はココアホライズンを通じて、より現代的な方法に即して連携し、知見を共有しています。

”

アーメル・ヌビッシュ・ロドリゲスさん
カカオ生産者
(カメルーン、ムバンガ在住)



自然を豊かに



97% +12%

前年比

農園の規模および所在地データを提供して力
カオを出荷している生産者の割合。



CHF 41k

生産者へのPESの総額
(大部分は第4四半期に支払い予定)



3,859

コートジボワールの生産者に配布
されたシェードツリーの苗木数。
他国への配布は年後半に予定。



10,254

上半期に環境保護について研修を受けた生産者数。



森林環境への前向きな取り組みおよびEUDRへの対応

トレーサビリティおよびアグロフォレストリーといった取り組みに加え、バリーカレボーソとの連携を基に、森林環境の目標の達成とEUDRが定めるデューデリジェンス要件への適合に向けて重要な施策を進めています。

ココアホライズンは、バリーカレボーソが採用している包括的なリスク評価手法に従い、国、地域、サプライヤー、および農園レベルでのリスクを評価します。さらに、コンプライアンス違反リスクを評価・軽減するためのサプライチェーン管理ツールを、ココアホライズン製品の調達段階に組み込んでいます。

このような堅牢なデューデリジェンスの取り組みおよび高リスク地域における森林保護への投資を組み合わせることで、バリーカレボーソは高リスク国産から欧州市場に輸入されるカカオホライズン製品のコンプライアンス違反のリスクが皆無またはごくわずかであることを示しています。

サステナビリティへの取り組みの伝え方

ココアホライズンのパートナーになると、[ココアホライズンのウェブサイト](#)上からログインして利用できる多種多様なコミュニケーションツールキットにアクセスできます。ツールキットは動画・写真・ロゴ・メッセージ・ポスターなどです。これらを活用して、私たちは顧客と共にサステナビリティに取り組み、影響力拡大に取り組む姿勢を通して持続可能なカカオの需要を高められるように支援していきたいと考えています。

採用しているコミュニケーションツールキット：オンライン、オフライン、および製品パッケージ上でブランドを差別化、認知度の向上を図る

- 動画
- 画像
- ロゴおよびメッセージ文言
- QRコード
- パンフレット
- ロールアップバナー
- ポスター
- ステッカー
- 商品タグ
- ココアホライズン認証書
- SNS



あなたも
物語の一
部に。
ココアホ
ライズン
に参加し
よう。

[お問い合わせ](#)